

一心太助の天秤棒 ～前の籠には責任を、後の籠には信頼を 肩に担いで売り歩く～

越谷市議員 白川 ひでつぐ

シリーズ/NO 143号



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来6期21年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝の駅立ちは、通算4200日を超えました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前の様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

YouTubeの白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は264名を超えました。引き続き配信を継続していますので、これまでのご協力に感謝し、更にご登録をお願いします。

チャンネル登録



駅員が改札から降りて来て、ただあたりを見渡して帰っていった、なぜ？

今朝の駅立ちは、せんげん台駅西口で、午前6時30分から開始したが、前日も午前5時30分から市政レポートを配布。ところが途中から雨が降り出したため、午前6時30分で中断。そのため、引き続きその続きでこの日同駅での駅頭となった。

この日、午後2時から開催される101年前の9月4日関東大震災で虐殺された24歳の朝鮮人「姜大興(カンデフン)」さんの追悼式に参加するので、紹介のため駅前で訴えた。

当時政府からの発令により流言飛語が市中に流布され、朝鮮人だけでなく地方出身者や障害者も自警団によって虐殺された。

千葉県野田市では、香川県の菓売りの部落民も同様に犠牲となった。

会場はさいたま市の見沼区の常泉寺で、今回から初めて大野元裕埼玉県知事からの追悼文が送られたため、市民の関心も高まっていた。

当時殺人事件として裁判で日本人が有罪判決を言い渡された歴史的事実があるにもかかわらず、政府は依然としてこのことを現在も認めようとしていない。

このような状況をこれ以上放置してはならないので、普段と違い市政報告とともに差別問題植民地主義の問題として訴えた。

ところが、私が話している中、駅員が階段を下りて来て何かをするでもなく付近を見渡した。私を見る風でもなくしかし目が泳いでいるように見えたが。エスカレータ入口のチェーンをロックしたので故障なのかと思ったのだがすぐに解除して階段を登って行かれた。

一体何のために降りてこられたのか。推測するにこの演説を聞きながら改札に向かったレイシスト?の市民が、駅員に通行の邪魔になっていると苦情を言ったため、駅員が現場を確認しに来た。ところが一切乗降を妨害していないため用事があるようなフリが必要なため、このような振る舞いとなったのでは、と。あくまで推測なのだが。

(9月4日・水曜日)

集団登校の一年生が、突然泣き出した、一緒の小学生はどうしたか

今朝の駅立ちは、大袋駅東口で午前6時前から市政レポートの配布を開始した。

今回もチーム白川の吉田理子さんが行動を共にして頂いた。

猛烈な暑さが続く中、今朝は涼しい風が吹いてはいるものの、蒸し暑さが体に纏わりつく。

午前7時30分頃日常的な風景なのだが、小学生の集団登校の7、8人の列が目の前を通過して行く。あー今朝も歩いているなー、と眺めていたら、途中その中の一年生と思われる女児が立ち止まり泣いている様子。

周りの小学生が何やら話しかけているが、泣き止まない。気にはなっていたが一団の対応を見守ることが大人の姿勢と、声を掛けるのは我慢していた。しかし一向に泣き止まずそのため列は止まったままだ。そのため止む無く近づいて行き、件の女児に話しかけている小学4年生?男子児童に聞いて見た。なんで泣いているのと、んーわかんない、との返事。おじさんここで何をしているのか、と逆に質問 (裏へ)

されたので、市議会の報告をしているんだよ、市議会ってわかる？と返事。市議会えーわかんない、と男子児童。その間も女の子はシクシクと泣き続けているため、どうしたのかなーと声を掛けたが、返事はない。その様子を見ていた女性がお母さんがいなくて寂しいんだよねーと話しかけたら暫くして泣き止んだ。

それでこれ以上対応することは避けて市政レポートの配布場所に移動した。おそらく長い夏休みが終わり二学期が始まり一日中母親とともに過ごして来た生活ががらりと変わり不安のために泣き出したのだろう。

ただ私も含め大人はこの場合集団登校という共同行動内における子供たちの自主的対応と判断を我慢強く見守る必要があったのでないかと反省した。(危険な状況ではないので)

午前8時頃愛知県警の刑事の男性が警察手帳をかざして話かけられた。犯罪事件を担当しているが状況確認のため駅前の写真を撮りたいので場所を少し移動してもらえないか、とお願いされた。あーはいわかりました、えー殺人事件ですか、と尋ねたら、いいえ誘拐事件です、との返事でカメラのシャッターを数回押しておられた。どんな事件でその後解決したのだろうか、と思いながら配布を続けた。

すると階段を降りて来た75歳だと名乗る男性が、あなたどこかで見たことがある、と声をかけられたので、はい毎日どこかの駅で行動しています、と返事。あーそれで自分は大沢に住んでいる、との応答だったので越谷市には長く住んでおられるのですか、尋ねたら親父の時から100年近く住んでいる、と。100年つまり三世代ということになるがこれから100年先を見据えた生き方が問われるなーと受けとめた。今日は午前10時から9月市議会の一般質問の初日なので終了後、迎えに来た妻の車で市議会に向かった。(9月6日・金曜日)

行きかう乗降客の一団に目立つ姿の女性が二人

連休明けの火曜日の朝、午前6時前から新越谷駅東口で市政レポートの配布と現在開催中の9月越谷市議会の報告をした。

平日の朝は、市内では最も乗降客が多い駅であり、東武線新越谷駅とJR線南越谷駅との交差点となっており両方の駅からそれぞれ行きかい混雑する風景は慣れっこだが、特に休日明

けのため特に多いように感じていた。

午前6時30分頃新越谷駅から南越谷駅に向かう乗降客の中でピンクのTシャツ姿で看板を結び付けたキャリーを押して二人の20台前半と思われる女性が通り過ぎて行く。

しかも二人とも全く同じスタイルなので目立った。そのため、よく見てみると維新の会の衆議院予定候補の看板であり、恐らく吉川駅の朝の駅頭に向かっているのだろう。

午前8時すぎには、今度は南越谷駅から新越谷駅に通り過ぎて行ったので間違いがない。

解散総選挙がまじかに迫っている。

(9月17日・火曜日)

越谷市議会、全員で避難所運営の訓練を実施



9月市議会開催中の25日恒例の防災訓練を実施した。毎年行っており今回は避難所運営ゲーム(HUG)を危機管理課職員の指導で実施。

午前10時から午前11時30分過ぎまで市議会第一委員会室の会場で5つのテーブルに分かれて開始。

このゲームは静岡県が2007年に開発。避難所の運営を任された立場となり、避難者のカードを配置しながら、さまざまな事情を抱えた避難者が殺到する状況をどう対処していくか、模擬体験するもの。

私は車で避難して来た市民に対してサインペンで駐車位置の書き込みを担当しながら、体育館のどこに誘導するのか協議していく。

避難者の50枚を超えるカードには、年齢や性別、国籍、持病の有無など、さまざまな事情が書かれておりそれぞれのグループが話し合っていくので正解はない。カードにはLGBTQの市民はなかったのだが、そもそも本人が申告するかどうか、プライバシーや人権をどう守るのか等も話題に上がった。(9月25日・水曜日)